

2025 年 5 月 22 日

BYD Japan Group 広報部

BYD Japan Group、ル・ボラン カーズミート 2025 横浜に 乗用車・商用車合同で出展

BYD の企業・製品に関する情報提供とブランド認知の向上を図る

- 乗用車は「BYD SEAL」「BYD SEALION 7」、商用車は大型電気バスの「K8」を展示
- 「BYD SEALION 7」の試乗で車載インフォテインメントシステムや高度先進運転支援機能を体験
- 大型電気バス「K8」は、BYD Japan Group のアイコンモデルとして会場でも“注目の的”に



BYD Japan Group^{※1}は、2025 年 5 月 10 日（土）、11 日（日）の 2 日間、横浜赤レンガ倉庫広場で開催された「LE VOLANT CARS MEET 2025 YOKOHAMA（ル・ボラン カーズミート 2025 横浜）」に、BYD の乗用車と商用車の 2 部門で共同出展しました。今回の出展で乗用車部門^{※2}は、4 月 15 日（火）に発売したばかりの SUV タイプの電気自動車（以下：EV）「BYD SEALION 7（ビーワイディー・シーライオン セブン）」と、昨年 6 月に発売した e-スポーツセダンの「BYD SEAL（ビーワイディー・シール）」の 2 モデルを出展（試乗用には別途、BYD SEALION 7 を 1 台提供）。一方、商用車部門^{※3}は、日本で販売している路線バスシリーズのうち、もっとも大きい大型電気バスの「K8」を出展しました。

※1 BYD Japan Group とは、日本の乗用車部門の BYD Auto Japan 株式会社と商用車部門のビーワイディー・ジャパン株式会社の総称

※2 BYD の乗用車部門は、BYD Auto Japan 株式会社

※3 BYD の商用車部門は、ビーワイディージャパン株式会社

BYD Japan Group 初の合同出展

2005 年の日本法人設立から、今年で 20 周年を迎える BYD Japan Group は、年初に開催した「BYD 事業方針発表会」以降、乗用車、商用車、両部門によるブランド認知向上活動を行っています。今回の出展では、BYD が日本で販売している最新の乗用車 EV と大型電気バスを出展することで、来場者と直接コミュニケーションを取り、BYD の実車を通じた製品の確かさ、高品質さ、そして、BYD のモノづくり哲学や商品優位性などについてお伝えすることができました。

最新の EV シリーズ「BYD SEAL」「BYD SEALION 7」で BYD の先進性をアピール

乗用車部門は、e-スポーツセダンの「BYD SEAL」と、クロスオーバーSUVの「BYD SEALION 7」を展示、試乗車には「BYD SEALION 7」を提供するなど、実際に多くのお客様に見て、触れて、乗って戴くことで、BYD の品質の高さとしっかりとした作りの良さを体感していただきました。とくに発売間もない「BYD SEALION 7」では、より一層進化した車載インフォテイメントシステムの「UI（ユーザーインターフェイス）」を中心に、高画質、高精細かつ素早く反応する使い勝手の良さに加え、高度先進運転支援システムの実際の作動および表示方法など、BYD の最先端技術についても多くのお客様に細かくご確認いただきました。

子供から大人まで大人気の BYD 大型電気バス「K8」

大型電気バスの「K8」は、BYD が国内販売する路線バスシリーズの中でも、もっとも大きい都市型電気バスで、出展した「K8」の車体には、ボディの両サイドに乗用車の「BYD SEAL」が描かれたラッピングが施されています。今回の出展では、多くの来場者に BYD 電気バスに関する情報をお伝えしたいという思いから、商品の特長を活かしたさまざまなコンテンツをご用意しました。



（電気バス運転手体験）

<大型バス「K8」の展示について>

実施コンテンツ	実施内容
① 電気バス運転手体験	お子様、家族の思い出としてのフォトコーナー としてお子様用にバスの運転手さん用の帽子を用意
② 車内広告欄を利用した BYD 電気バスの情報提供	車内広告欄に、BYD 電気バスに関するさまざまな情報を QA スタイルで分かり易く掲示
③ V2L* 機能の実演 * Vehicle to Load / 外部給電	専用ケーブルで簡単に 100V 電源の利用が可能に！イベント用電気製品への電源供給を実施
④ 座席付近の USB ポートを利用した充電サービス	災害時にも役立つ座席付近の USB ポートを利用した充電体験** ** BYD 電気バスは全シリーズモデルに USB ポートを標準装備 「K8」は、iPhone 換算で約 17,000 台分の電源の供給が可能
⑤ 会場内休憩所	停車中でも排ガス、CO2、騒音を一切出すことなく冷暖房が利用できることを生かし会場内休憩所として提供
⑥ 車いす用スロープの利用体験	段差のない低床フロアで車内転倒事故の低減に成功している K8、停車時に車体を傾けることで、車いす用スロープの角度が減少し運転手への負担も軽減されていることが体感できる利用体験を実施

今後も BYD Japan Group では、BYD のコーポレートミッションである「Technological Innovations for a Better Life」に基づき、日本でも多くのお客様に BYD への興味・関心を高めていただき、より良い商品・サービスで、お客様とともに日本のカーボンフリーなモビリティ社会の実現に向け、全社一丸となって努力してまいります。

製品に関するお問い合わせ：

BYD Japan Group お問い合わせフォーム：<https://byd.co.jp/contact/>